

ミカン畑 中断なく継承

南島原市 独自研修システム



●右第1期生（左）と継承農地の園主、●下研修事業サイトの二次元コード



栽培技術の習
研修では、

南島原市では2022

年10月から、ミカン農家の基礎を2年間で作り上げる「南島原果樹農業研修事業」に取り組んでいる。目的は「農地の継承」と「後継者不足の解消」で、生産者が大切に守ってきた農地を研修生へ引き継ぐことで農地の荒廃を防ぎ、同市のミカン農業全体を守っていくことをめざしている。



得だけでなく、農業経営に必要な知識も習得できる総合的なプログラムを提供している。さらに他にない特徴として、4生産団体から異なる栽培方法を学ぶことができる点

が挙げられる。

一般的な研修が受入先農家からノウハウなどを学ぶことに対して、自分にどの栽培方法が合うのかを考えた上で、所属する生産団体を選ぶことができる点が事業の魅力だ。第1期生は2年間の研修を昨年10月に終え、農地を継承し、ミカン農家としての第一歩を踏み出した。現在は第2期生を受け入れている。

農地は放置すると復旧に多くの時間が必要となる。同市では切れ間なく農地を継承するために、今後も事業に力を入れていくことにしている。

（南島原市農業委員会）